安全なキャンプのために

社団法人　日本キャンプ協会

安全で楽しいキャンプをしましょう

キャンプは自然の中で、仲間や家族と、また個人でも楽しめる素晴らしい活動です。

最近はキャンプ用品やキャンピングカーなどの普及によって、より多くの人々が気軽にキャンプをエンジョイすることが出来るようになりました。しかし、一方ではルールやマナーを無視した行動によって、大きな事故や傷害が増えてきていることも見逃せません。

キャンプは自然の中で行われるものだけに、安全に対する配慮を忘れてはなりません。楽しいはずのキャンプで事故に遭ったり、健康を害したりすると、とたんにキャンプがつまらないものになってしまいます。

ちょっとした注意や気配りで、事故やケガは防げるものです。

（社）日本キャンプ協会では全ての人々が「安全で楽しいキャンプ」をすることが出来るようにとの願いをもってこの小冊子を作成しました。

キャンプに出かける前、キャンプ中、帰宅後の安全と健康について、注意すべきことがらを知り、ひとりでも多くの人々が安全で楽しいキャンプをすることが出来るよう願っています。

編　集　**（社）日本キャンプ協会・安全管理委員会**

委員長　野間口　英敏（東海大学教授）
委　員　井上　透（国立青少年総合センター調査連絡課課長補佐）
委　員　木谷　尚史（日本アウトワードバウンド協会事務局長）
委　員　桑原　直子（（社）ガールスカウト日本連盟教育活動担当）
委　員　嶋　結子（（財）東京ＹＷＣＡ幹事）
委　員　藤井　雅子（（社）日本キャンプ協会事務局次長）
委　員　星野　敏男（明治大学教授）
委　員　吉田　大郎（（社）日本キャンプ協会事務局長）
イラスト　松田　誠一（（財）熊本ＹＭＣＡ主査）

安全なキャンプ
キャンプに出かける前の安全

まず計画を立てる

☆　まず、ゆとりのある計画を立てて出かけましょう。
・無理のない計画が安全の第一歩です。
・体力のない子どもやお年寄りに合わせましょう。
・キャンプ場までのルートを、事前に地図などで確認しておきましょう。

キャンプは必ずキャンプ場で

☆　キャンプの事故は、天気や地形と大きな関わりがあります。
・キャンプ場では、キャンプ場の管理者から、雨や雷などの情報、キャンプ場やその周辺の危険な場所についての情報などを聞くことが出来ます。また、適切なアドバイスをしてくれるので安心して、キャンプをすることができます。

ケガや病気に備えて準備するもの

☆　キャンプをするときに用意するものは、ケガや病気、天気が悪くなったときのことなどを考えて、揃えましょう。
・常　用　薬……風邪、腹痛、下痢、乗り物酔いなどに備えて。
・救急用品　…ケガや火傷、ハチ刺されなどの処置に備えて。
・地図とコンパス　…ロードマップとは別に、キャンプ場周辺の地図。（キャンプ場からハイキングなどに出かけるときに必要）
・懐中電灯　…予備の電池を忘れずに。
・雨　　具……出かける時に晴れていても、雨具は必ず用意します。雨に濡れて体が冷えると体調不良のもと。傘のほかに、行動しやすい上下に分かれたセパレートタイプのものがよい。
・帽　　子……頭の保護と日射病などの熱中症を防ぐため。
・防　寒　着……野外では夏でも昼夜の温度差があるため。また、標高が高いところでは気温が下がるため。
・替えの下着……雨や汗などで体が濡れ、冷えて体調を崩すのを防ぐため。
・水　　筒……飲み水の確保や傷口の洗浄のため。
・手袋（軍手）…切り傷や火傷などの防止のため。
・携帯ラジオやTV　…最新の気象情報を知るため。
・携帯電話　…その地方の気象情報を知るため（市外局番＋177）。緊急時の連絡。
・健康保険証……ケガや病気に備えて。（最寄の病院、休日・夜間の当番医も調べておきましょう）

キャンプに出かける前の安全

家族みんなの体調を整える

キャンプに出かける前は、できるだけ睡眠を十分とるように心がけましょう。睡眠不足は体調不良のもとです。特に子どもやお年寄りには、配慮するようにしましょう。

キャンプへ出かける判断は、気象条件を第一に考える

自然の中では、自分の身は自分で守るのが鉄則です。このルールを忘れると、楽しいキャンプが一転、悲しい事故へと変わるおそれがあります。

・キャンプでは、気象条件が事故と結びつくことがあります。予定通り出かけるかどうかを判断するために、数日前から熱帯低気圧や台風の発生と進路、雨の状況（大雨、集中豪雨）といった気象情報について十分注意しておきましょう

車の点検と整備を怠りなく

車は外観より点検・整備が第一です。

・タイヤ……空気圧、摩耗の程度
・前後ランプ、ブレーキランプ、方向指示器 …点　灯
・エンジンオイル……オイルの量
・ブレーキオイル……オイルの量
・バッテリー液……液の量
・ウインドウォッシャー液……液の量

など、安全運転のために点検と整備を事前に行いましょう。

荷物は車の重心が低くなるように積む

キャンプ場は山の中などの場所にあることが多く、山間のくねくね道や急坂でハンドルを取られないように、重い荷物は、なるべく車内の床に近い場所に積み、重心を低くすることが大切です。

テントや雨具は“良いもの”を購入する

テント、炊事用具、照明器具などを購入するときは、安心して使用できるように、用器具は構造、性能、品質の良いものを、専門店でアドバイスを受けて購入することが安全のためにも大切です。

用器具は事前に正しい使い方をマスターする

ランタン、コンロ、着火剤、テントなどの用器具による事故は、間違った使用方法や不注意な使い方が原因となっています。新しく用器具を購入したときは、取扱説明書を必ず読み、事前に一度使用してみて、正しい使い方ができるようにしておくことが大切です。

腐敗しやすい食料品は現地で購入する

生ものなどの食料の保存には、性能のよい用具（クーラーボックス、車載冷蔵庫、保冷グッズなど）がありますが、食中毒の予防のためには過信をしないことです。今では場所にもよりますが、キャンプ場の近くで購入できる所も多いので、事前に下調べしておくとよいでしょう。

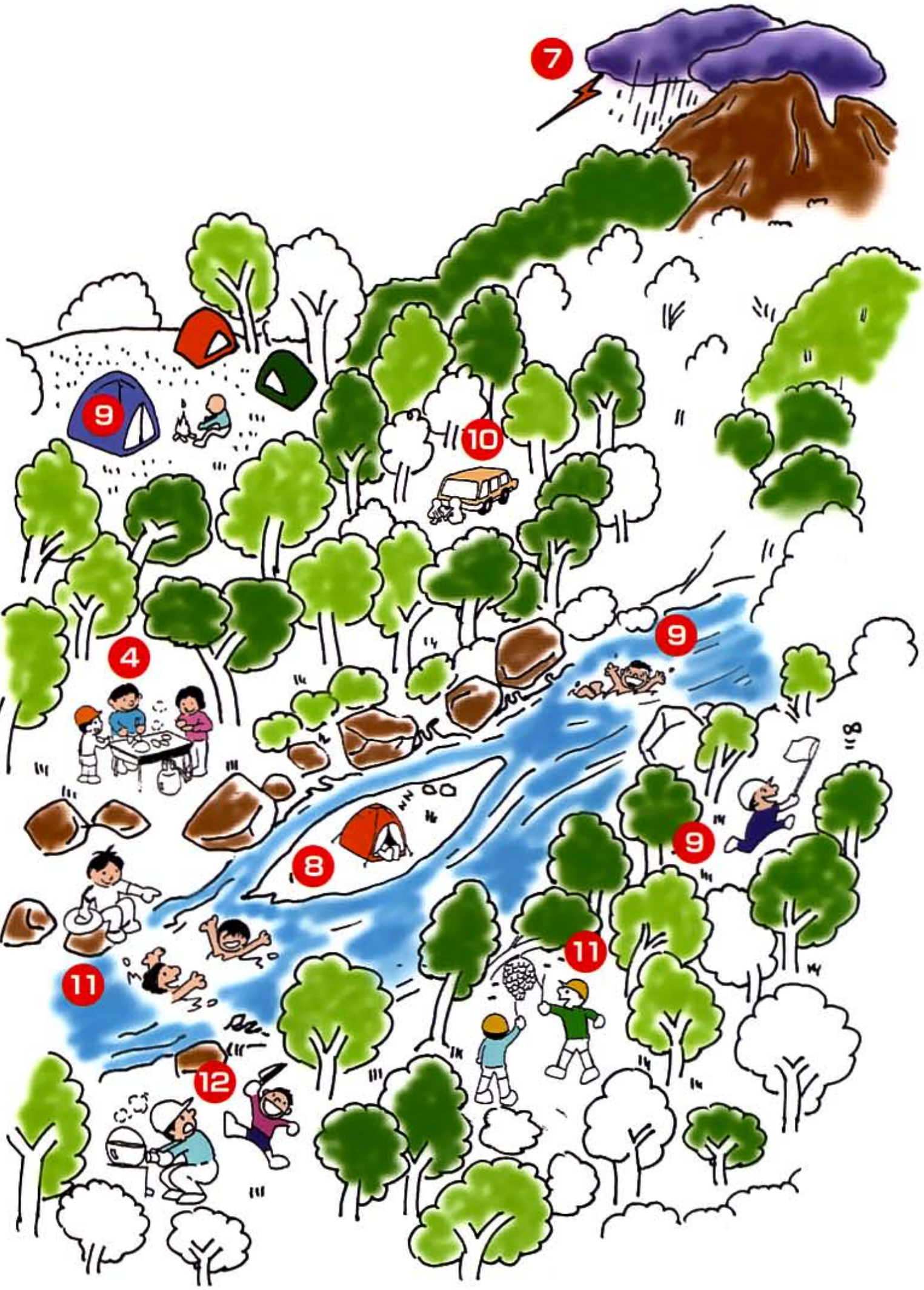
保険に加入する

安全に絶対はありません。万一の事故に備えて、出発するときから家に帰り着くまで補償される「旅行傷害保険」などに加入しておくとよいでしょう。

家族でキャンプの“危険”について話し合いをする

☆　キャンプでは「どんなこと（状況）」が、「どのように危険」なのか、家族で事前に話し合って危険に対する予知能力を高めておきましょう。

　下の図を見ながら家族で話し合いをしましょう。（●の数字は、この冊子のページを示しています。そのページを開いて確かめてみましょう）



安全なキャンプ
キャンプに出かける日の安全

キャンプにでかける判断

☆　キャンプに出かける当日、予定通り出かけるかどうかの判断は、キャンプ中の「天気」や家族の「体調」をもとにして決めましょう「せっかくの休みだから……」、「キャンプ場に着けば、なんとかなるだろう」と、考えるのは事故のもとです。また、家族全員の体調を確認し、一人でも体調がよくないときには無理をせず中止にしましょう。「みんなが楽しみにしていたのだから……」という理由で、無理して出かけることは、悪くすることはあっても、決して良いことではありません。

安全運転を心がける

☆　待ちに待ったキャンプということで、心がはやるあまりスピードを出し過ぎたり、無理な追い越しや割り込みはやめましょう。

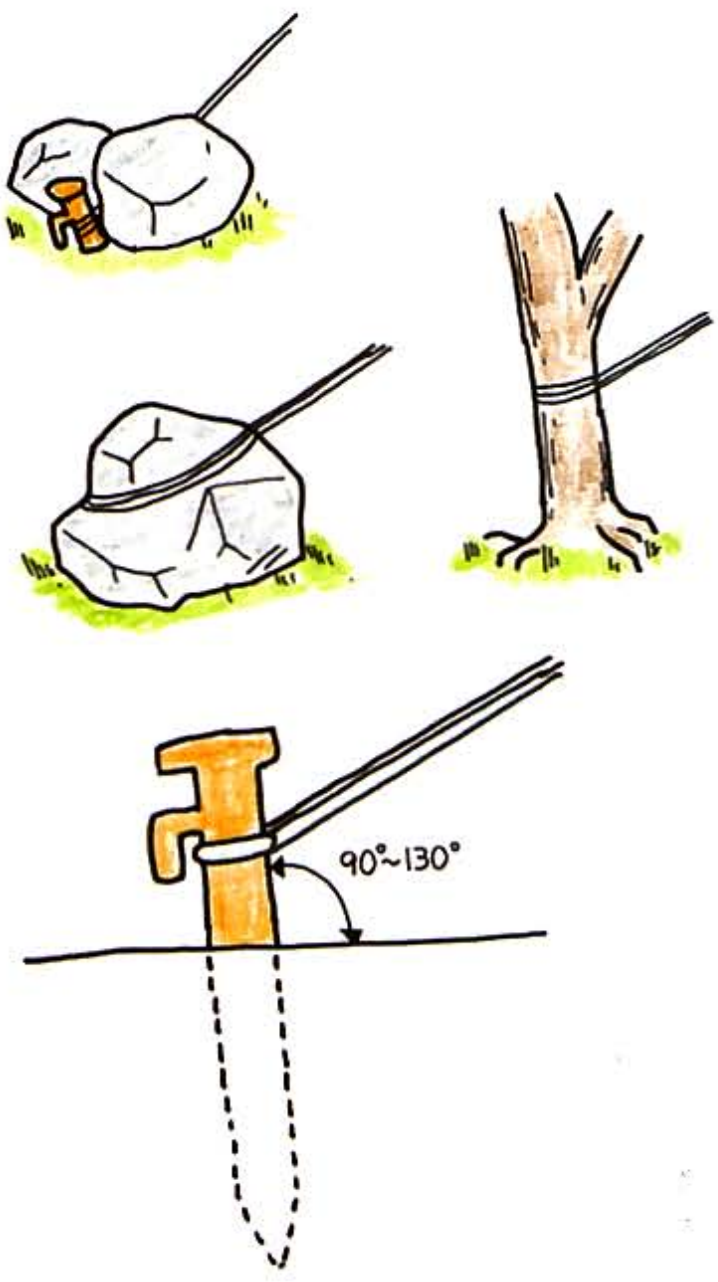
　また、長時間の運転は疲れるため休憩をとりながら、「安全運転」で行きましょう。

後部座席でもシートベルトの着用を心がけましょう。

安全なキャンプ
キャンプ地での安全

悪天候が予想されるときは撤退する

☆　天気について勝手に希望的観測をせずに、キャンプ場の管理者や地元の人のアドバイスには謙虚に耳を傾けるようにしましょう。悪天候、または悪天候が予想されるとき、もっとも大切なことはキャンプを中止して撤退する「勇気」です。「せっかく来たのだから……」、「あと予定が１日あるのだから……」と、安易に考えて行動することは、大変危険です。無事に帰ることを最優先しましょう。



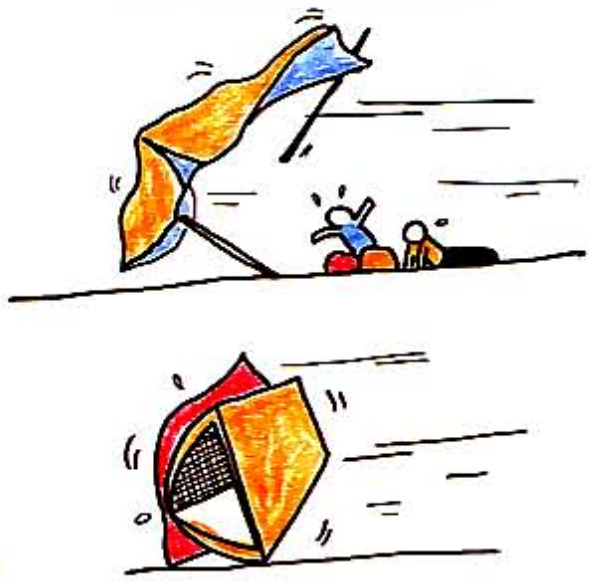
風でテントを飛ばされないペグの打ち方

☆　テントを張るときペグの打ち込み方によっては、風や雨でテントがあおられたり飛ばされる危険があります。このような危険を避けるため、ペグと地面の角度は90～130度で打ち込むようにしましょう。また、テントを張る場所が軟弱なところでは、ペグを打ち込んだだけでは、弱い風でもテントが飛ばされてしまいます。軟弱な地面にペグを打ち込むときは、図を参考にその場に応じた工夫をしましょう。

絶対にテントを張ってはいけない場所

次のような場所では危険なため、**絶対にテントを張らない**ようにしましょう。

・強風の吹くところ



（テントごと飛ばされる危険）

・崖の下

（風や雨、振動などで落石の危険）

・草や木の生えていない中州や河原

晴れているときは陸状になっているが、いったん雨が降ると、急に増水して流される危険

・木の下

（落雷による感電と倒木による危険）

キャンプ場内外の危険な場所の確認をする

自然の中では、どのような危険が潜んでいるかわかりません。また、自然はいつも同じではありません。いったん雨でも降れば、地形は変ってしまいます。

キャンプ場内及び周辺で、キャンプ中に行動する（遊びをする）範囲を、管理者や地元の人に尋ねるなどして、危険な場所の確認を怠らないようにしましょう。また、危険な場所の確認で大切なことは、大人にとっては何でもないところでも、子どもにとっては危険なところがあるので、注意して確認するようにしましょう。

子どもの行動から目を離さない

川で溺れたり崖から落ちるといった子どもの事故は、保護者がちょっと目を離したスキに起きています。

子どもたちの行動については、常に目を離さないようにしましょう。ちょっとした油断が大きな事故を招きます。

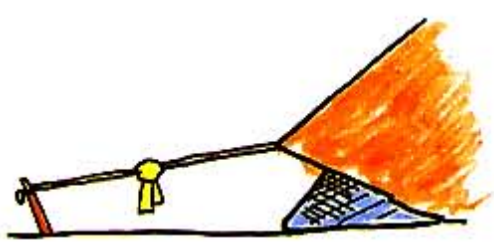
テントの中やテントのそばは火気厳禁

テントの中では、火気厳禁です。

テント内でガス用コンロを使用中にテントに引火し火災が起きて大火傷を負ったり、炭火用コンロを使用していて、一酸化炭素中毒で死亡する事故が起きています。

また、キャンプでの楽しみの一つに、野外で焚火をすることがありますが、燃えやすいテントのそばでの焚火は、テント火災の危険があるため厳禁です。焚き火の後は、夜中に再び燃え上がることのないように、完全消火をしましょう。

夜間はテントの張り綱とペグに注意



夕方や夜間になると足元が見えにくくなるため、テントの張り綱やペグにつまずく危険があります。このため張り綱やペグに白い布などをつけて、見やすくしておくとよいでしょう。

混雑したキャンプ場では、張り綱が密集していたり、ペグがいたるところに打たれていますので、十分に注意しましょう。

保険・衛生に十分に気を配る

キャンプでは、とかく睡眠不足になりがちです。睡眠不足は、注意力・集中力が散漫となって、怪我や事故、病気につながります。キャンプ中はつとめて睡眠をとるよう心がけましょう。

食事の前やトイレの後の手洗いは、日常生活では当たり前でも、キャンプでは不便さから、ついおろそかになりがちです。必ず手を洗いましょう。

生ゴミの処理を適切に、そして炊事用具や食器類は、ハエなどがたからないように常に清潔にしておきましょう。

汗をかいた後は、シャワーを浴び、体をよく拭き、衣類を着替えるようにして、常に体を清潔に保つようにつとめましょう。

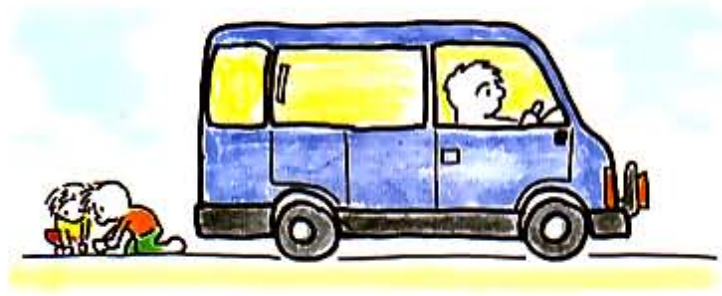
気象情報を確認する

キャンプ中の悪天候は、事故との関わりが大きくなるので、常に最新の気象情報を得るようにしましょう。

　ポータブルラジオやテレビ、携帯電話（市外局番＋177）などからの情報の他に、キャンプ場の管理者や地元の人からの情報も有効です。

キャンプ場内では歩行者優先、子どもに注意

家族連れのキャンパーが多いことから、キャンプ場内での車の運転は、特に子どもに注意し安全運転を心がけましょう。また、子ども達にも車には十分注意させましょう。



自然の中の危険な動植物に対する注意

自然の中の危険な動物や植物に気をつけましょう。

＜危険な植物＞

・植物の中には、触れるとかゆみや、かぶれを起こすものから、食べて食中毒になるもの、命を落とすものもあります。図鑑などで調べ、わからないものは絶対に触れたり食べないようにしましょう。

ウルシ

ドクツルタケ

コレラタケ

＜危険な動物＞

・**毒へび**……日本にいる毒へびは、マムシ、ヤマカカシ、ハブの三種類です。ハブ以外は、本州のほとんどの野山にいて、猛毒を持っていて噛まれると死亡するおそれもあります。へびは刺激しない限り襲ってきませんが、驚いて噛みつくことがあるため、裸足やサンダルで草むらに入らないようにし、見かけても手を出さないことです。

マムシ

ヤマカガシ

ハブ

・**スズメバチ**…スズメバチは、巣の近くで動く物を見ると攻撃します。ハチが頻繁に飛んでいるところには巣がある可能性が高いため、近づかないことです。また、生ゴミやジュースの空缶など、意外なところに潜んでいますから注意しましょう。見つけたときには、あわてて手で振り払ったり、いたずらをしたりしないで、体を低くしてゆっくり逃げることです。

スズメバチ

水遊びの危険

川や海、湖沼、山は、危険と背中合わせのため、常に子どもの行動から目を離さないよう細心の注意が必要です。

＜水遊びをするときに危険なところ＞

・流れの速いところ……川、海
・渦を巻いているところ……川、海
・深みがあるところ……川、湖沼、海
・潮の流れが速いところ……海
・遊泳禁止のところ……川、湖沼、海
・波が高いところ……海

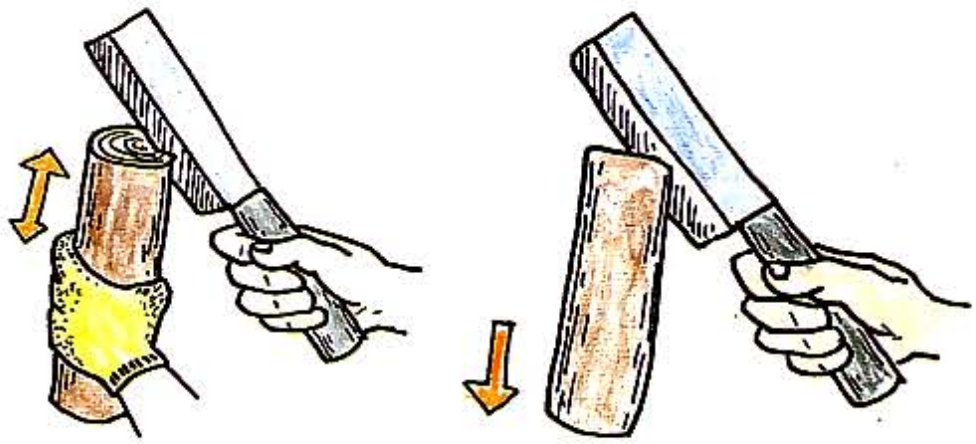
刃物の扱い方

キャンプでは、日ごろ使い慣れない刃物を使うため、使い方や扱い方を間違えると大きな事故になりかねません。だからといって子どもに刃物を使わせないということではなく、こうした機会を活かして基本的な使い方をしっかり教えることが大切です。

また、刃物は常に手入れをして、きちんと切れるようにしておくことが必要です。

<ナタ>

・ナタを持つ手は素手で、マキを持つ手には手袋をつけます。
・マキを割るときは、安定した台の上で、ナタの柄に近い刃の部分を、立てたマキの上部に置き、マキと一緒に持ち上げ軽く叩いて割るようにします。
・使用後は鞘に戻しておきましょう。



<ナイフ>

・刃をからだの方に向けたり、指を刃の前に出して使用しないようにしましょう。

炊事・照明器具は正しく使う

・ガスバーナーなどの炊事器具は、必ず屋外で使い、テントの中では使わないようにしましょう。
・ガスのカートリッジは、空になっても火の側や40度を超える場所、直射日光の当たる車内などには置かないこと。
・バーナーを炭の火起こしには使わないようにしましょう。
・ガスカートリッジの付いたバーナーに鉄板などを覆いかぶせるように載せないようにしましょう。
・テント内の照明は、安全のため電池式のものを使用しましょう。ガスランタンやガソリンランタンをテント内で使用する時は換気に気を配りましょう。酸欠状態を招いたりテント火災の危険もあります。

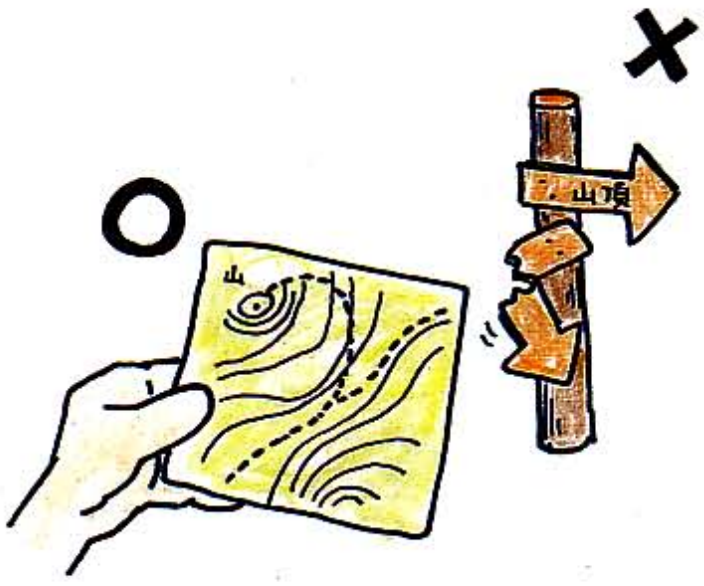
安全なハイキングをするために

出かける前に

・地図を用意し、コースを頭の中に入れておきましょう。
・日没の２～３時間前に帰り着くように、早く出発し早く帰れるように計画しましょう。
・天候に不安があるときは、無理せず中止にしましょう。
・万一に備えて、コンパスと懐中電灯を用意しましょう。
・山は天気が変わりやすく、予想以上に寒かったり暑かったりするので、防寒衣や雨具、帽子や水筒も用意しましょう。
・道迷いなど万一に備えて、チョコレートなど非常食を用意しておきましょう。
・空腹で歩くとバテるため、朝食はしっかりと食べましょう。

戻ってきたら

・汗を拭き衣服を着替えましょう。
・できるだけ体を休めるようにしましょう。



歩き始めたら

・体力の弱い子どもやお年寄りを中心にして歩きましょう。
・時々、コースと現在地を確認しましょう。
・分岐点では、標識だけに頼らず地図で方向を確認しましょう。
・道を間違えたときには、確認できる位置まで引き返しましょう。
・急がずに、休みは定期的にとるようにしましょう。
・熱中症の予防のため、水分は十分に補給するようにしましょう。
・途中で、同行者の体調が悪くなった時には迷わず引き返しましょう。

安全なキャンプ
キャンプから帰る日の安全

使用済みのガスカートリッジの始末

☆　使用済みのガスカートリッジは、穴をあけて中のガスを抜き去り、持ち帰るようにと指導されてきました。しかし、最近では穴をあける際に周囲の火に引火して、火傷等の事故につながるケースが指摘されており、安全や環境保全の観点からも「ガスを完全に使い切って」地域の処理方法に従って処理することが求められています。

用具類に破損がある場合にはメモしておく

☆　用器具類の破損や故障が原因で、事故が起きることがあります。テントや炊事・照明器具が破損や故障して、修理や補修の必要があるときには、忘れないように荷札などにメモして故障箇所に付けておくとよいでしょう。

帰宅時間は家族の体調を考える

☆　ファミリーキャンプは、何といっても健康を重視すべきです。家族の健康を考えて帰宅する時間は早めにしましょう。

車の長時間の運転は避け、休憩をとる

☆　キャンプでは、どうしても疲労したり睡眠不足になります。“居眠り運転”の予防のため、長時間の運転は避け、途中で休憩をとるようにしましょう。

安全なキャンプ
キャンプから帰ったあとの安全

用具類の手入れをする

☆　コンロやランタン類の破損や故障をそのままにしておくと、爆発などの危険につながることになります。キャンプから帰ってきたら忘れないうちに修理や補修をしておきましょう。修理や補修をしても不安が残るような場合には、万全を期すために買い替えをする必要があります。

☆　テントやシュラフ（寝袋）は、濡れたり湿ったままの状態でしまうとカビなどが発生し、使えなくなることがあります。時間をおかずできるだけ早く天気のよい日に十分乾燥させるようにしましょう。

☆　食器類の洗いや乾燥が不十分だと、ゴキブリの住まいになったり、カビが発生して不衛生です。食器類は、きれいに洗い十分に乾燥させてからしまうようにしましょう。

キャンプから帰ったらゆっくり体を休める

☆　せっかく楽しいキャンプをした後に、疲れが残ったり、体調を悪くしては何もなりません。キャンプから帰った数日は、できるだけ睡眠を多くとり体の疲れを取るように心がけましょう。特に子どもやお年寄りへの配慮を忘れないようにしましょう。

安全なキャンプ
キャンプに対するあなたの安全度

あなたはどのタイプ？

★START★

アウトドアということばを聞くと血がさわぐ

yes → たとえ天気予報が雨でも気合いの入れ方次第で晴れると信じる

no → 人の世話をするのは苦にならないめんどうみは良い方だ

アウトドアということばを聞くと血がさわぐ
- no → 計画がうまく運ばないとムッとする
- yes → 遠足の前日はワクワクしすぎて眠れないタチである

たとえ天気予報が雨でも気合いの入れ方次第で晴れると信じる
- yes → 遠足の前日はワクワクしすぎて眠れないタチである

人の世話をするのは苦にならないめんどうみは良い方だ
- no → 遠足の前日はワクワクしすぎて眠れないタチである
- yes → やっちゃだめと言われるとますますやりたくなるやっかいものである

遠足の前日はワクワクしすぎて眠れないタチである
- no → 計画がうまく運ばないとムッとする
- yes → やっちゃだめと言われるとますますやりたくなるやっかいものである

計画がうまく運ばないとムッとする
- no → めんどうくさいことはすべて人におしつける
- yes → 事故にあう人は運が悪かったんだと思う

やっちゃだめと言われるとますますやりたくなるやっかいものである
- yes → 事故にあう人は運が悪かったんだと思う
- no → こうと決めたら突っ走るイノシシ型人間である

めんどうくさいことはすべて人におしつける
- no → **3びきの子ぶた 木の家タイプ**
- yes → **3びきの子ぶた ワラの家タイプ**

事故にあう人は運が悪かったんだと思う
- no → めんどうくさいことはすべて人におしつける
- yes → **3びきの子ぶた ワラの家タイプ**

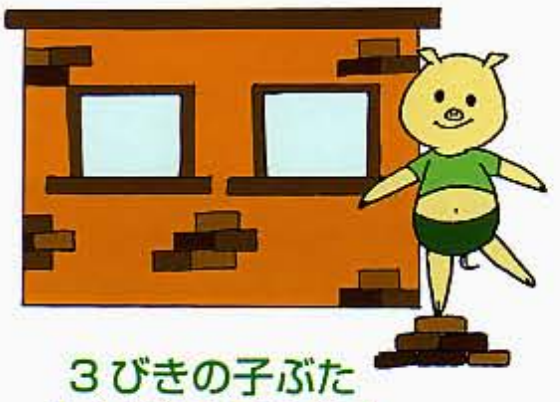
こうと決めたら突っ走るイノシシ型人間である
- yes → 事故にあう人は運が悪かったんだと思う
- no → **3びきの子ぶた レンガの家タイプ**

3びきの子ぶた 木の家タイプ

習うより慣れましょ。たまにはハプニングもあった方が楽しいぞ。でも気は抜かないで！

3びきの子ぶた ワラの家タイプ

楽しいキャンプを最後まで本当に楽しむためにはまず安全に注意を！　一読あれ。



3びきの子ぶた レンガの家タイプ

安全・安心キャンプ志向派念には念をいれてすてきな思い出作りを！

キャンプについてのお問い合わせはお近くのキャンプ協会へ

都道府県協会	郵便番号	住　所	TEL	事務局担当
北海道キャンプ協会	064-0809	北海道札幌市中央区南９条西 14 丁目	011-532-0200	大築（オオツキ）
岩手県キャンプ協会	020-0866	岩手県盛岡市本宮字熊堂 108	019-635-2370	小笠原
宮城県キャンプ協会	983-0005	宮城県仙台市宮城野区福室 5-19-20	022-258-7607	長谷川
秋田県キャンプ協会	019-2112	秋田県仙北郡西仙北町刈和野字愛宕下 178-3	0187-75-1746	逸見（ヘンミ）
山形県キャンプ協会	999-3232	山形県上山市長清水 1-19-51	023-673-3336	細川
福島県キャンプ協会	963-8041	福島県郡山市富田町鶴蒔田 1-126	070-6625-5646	荒川
茨城県キャンプ協会	310-0022	茨城県水戸市梅香 2-1-44	029-226-0206	園部
栃木県キャンプ協会	321-1263	栃木県今市市瀬川 1283-4	0288-21-2211	芳賀
群馬県キャンプ協会	370-1401	群馬県多野郡鬼石町鬼石 300	027-221-3981	石原
埼玉県キャンプ協会	338-8570	埼玉県浦和市下大久保 255	048-858-3273	菊地
千葉県キャンプ協会	273-0002	千葉県船橋市東船橋 4-27-3-101	047-426-7219	戸田
神奈川県キャンプ協会	228-0824	神奈川県相模原市相武台 3-3-30	0462-54-4564	菅野
東京都キャンプ協会	171-0033	東京都豊島区高田 3-17-8	03-3987-0474	前嶌
新潟県キャンプ協会	940-0852	新潟県長岡市中貫町 3-1-17	0258-34-2542	飯田
富山県キャンプ協会	930-0112	富山県富山市八ヶ山 835	0764-33-3228	石動（イスルギ）
石川県キャンプ協会	923-0835	石川県小松市吉竹町南 109番地	0761-22-7208	深谷
長野県キャンプ協会	380-8544	長野県長野市西長野6-ロ	026-238-4165	平野
岐阜県キャンプ協会	503-2417	岐阜県揖斐郡池田町本郷 1530-1	0585-45-2754	清水
静岡県キャンプ協会	432-8021	静岡県浜松市佐鳴台 3-49-22	053-448-4147	太田
愛知県キャンプ協会	460-0013	愛知県名古屋市中区上前津 2-5-29	052-321-1600	吉田
三重県キャンプ協会	510-0071	三重県四日市市西浦 2-12-15	0593-56-5700	池田
滋賀県キャンプ協会	523-0891	滋賀県近江八幡市鷹飼町 537-3	0784-33-2420	渡部
京都キャンプ協会	604-8083	京都府京都市中京区三条柳馬場中之町 2	075-255-4709	神崎
大阪府キャンプ協会	540-0003	大阪府大阪市中央区森ノ宮中央 2-13-33	06-6942-5147	今井
兵庫県キャンプ協会	651-0062	兵庫県神戸市中央区坂口通 2-1-18	078-230-9675	三木
奈良県キャンプ協会	633-0251	奈良県宇陀郡榛原町ひのき坂 3-8-6	0745-82-1662	稗田
和歌山県キャンプ協会	640-8323	和歌山県和歌山市太田 383	0734-73-3338	中村
島根県キャンプ協会	690-0012	島根県松江市古志原町 2-6-33	0852-21-0693	伊藤
岡山県キャンプ協会	700-0821	岡山県岡山市中山下 1-5-25	086-223-1509	太田
広島県キャンプ協会	730-0042	広島県広島市中区国泰寺1丁目 7-28-603	082-241-1528	鍋島
山口県キャンプ協会	753-0078	山口県山口市緑町 2-21	0839-23-5107	三郎丸
徳島県キャンプ協会	770-0855	徳島県徳島市新蔵町 1-80	088-626-3436	井上
香川県キャンプ協会	761-8063	香川県高松市花ノ宮町 2-7-9	087-867-7730	藤本
愛媛県キャンプ協会	790-0051	愛媛県松山市生石町 367-8	089-933-2576	今井
高知県キャンプ協会	780-0821	高知県高知市桜井町 1-8-32-802	0888-83-8713	片岡
福岡県キャンプ協会	813-0042	福岡県福岡市東区舞松原 2-5-16	092-663-5074	大橋
佐賀県キャンプ協会	840-8502	佐賀県佐賀市本庄町 1	0952-28-8359	栗原
長崎県キャンプ協会	850-0045	長崎県長崎市宝町 6-30	095-842-0027	都志見
熊本県キャンプ協会	861-2231	熊本県上益城郡益城町安永 741-5	096-286-0382	柚上
鹿児島県キャンプ協会	890-0062	鹿児島県鹿児島市与次郎 1-4-20	099-255-0146	山上（ヤマウエ）
沖縄県キャンプ協会	902-0062	沖縄県那覇市松川 2-2-16	098-832-8780	津波

安全なキャンプのために

2000 年 5 月 1 日発行

編　集　社団法人　日本キャンプ協会　安全管理委員会

発行者　酒　井　哲　雄

発行所　社団法人　日本キャンプ協会

〒151-0052　東京都渋谷区代々木神園町３－１

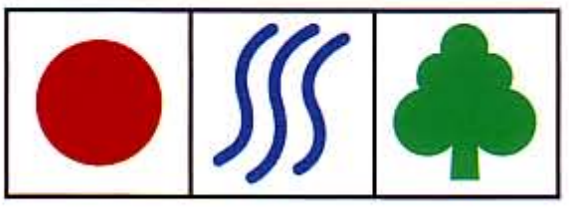
国立オリンピック記念青少年総合センター内

TEL 03-3469-0217　fax 03-3469-0504

E-mail:ncaj@camping.or.jp

http//www.ncaj@camping.or.jp

印　刷　（有）サンエイプレス



NCAJ

National Camping Association of Japan